

ホタテガイ養殖管理情報

稚貝のサイズは小さめですが、早めに分散を

1 海況

10月5日時点の陸奥湾の中層（10～15m層）の日平均水温は図1のとおりです。水温は20℃を下回っているところがみられており、今後1ヶ月間の水温も平年並みの見込みです。詳しくは、陸奥湾海況情報や海ナビ@あおもり（下記URL、QRコード）をご覧ください。

2 稚貝の状況について

9月29日～10月5日に湾内7地点で、8月下旬～9月上旬に採取した未分散稚貝の中段1段の成育状況を調査しました。測定結果は表1のとおりです。

平均殻長は西湾で17.4mm、東湾では18.1mmと、7月に採取した未分散稚貝（9月8～13日調査時それぞれ18.0mm、20.7mm）よりも小さいサイズとなっています。

へい死率は西湾で4.6%、東湾で1.8%と、7月に採取した未分散稚貝（9月8～13日調査時それぞれ2.2%、0.5%）よりも高い値となっています。

3 稚貝分散作業時の注意点

- 1段当りの収容枚数が300枚台と多い地点が見られます。
- 分散が遅れると、稚貝の成長悪化や、異常貝増加によるへい死につながるので、サイズは小さめですが、早めに作業を行い、遅くとも11月末までに終わらせるようにしましょう。また、新貝と成貝向けの分散は10月末までに終わらせるようにしましょう。
- 1段当りの収容枚数が多いと成長悪化やへい死につながるので、養殖方法に応じた適正な収容枚数（1段当り10～20枚）を心がけて作業してください。
- 潮流によるぶつかり合いで、外套膜（ヒモ）が傷ついてへい死しないように、ネットにはオモリをつけましょう。また、潮流が速い場合は、作業を控えましょう。
- 作業終了後は波浪によるぶつかり合いを防ぐために、施設を浮かせずぎないようにしましょう。

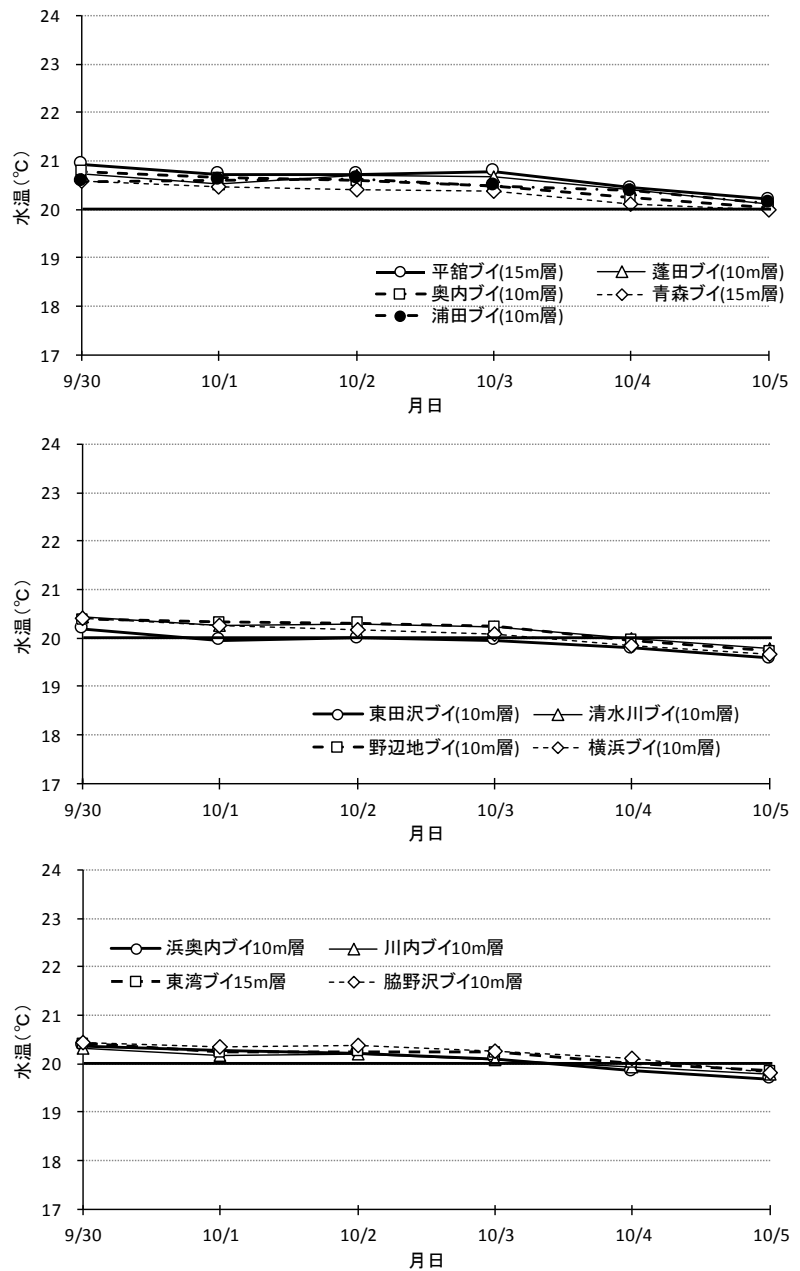


図1 海況自動観測ブイ（15m層）と水温観測ブイ（10m層）での日平均水温の変化

表1 各地点で8月下旬～9月上旬に採取した未分散稚貝の成育状況

調査場所	調査月日	幹綱水深 (m)	稚貝採取月日	採苗時の篩いの目合(分)	パールネットの目合(分)	錘の有無・種類	生貝数 (枚)	死貝数(枚)		へい死率 (%)※	異常貝率 (%)	平均殻長 (mm)
								成長後	採取直後			
A	9月29日	30	8月24日	2.3	2	太枠1段	109	2	38	1.8	2.0	18.2
B	10月2日	15	8月31日	2.0	2	鉛100匁・太枠10段	94	11	50	10.5	1.0	16.0
C	9月29日	22	8月21日	2.3	2	なし	278	6	59	2.1	1.0	20.6
D	10月2日	27	9月6日	2.0	2	なし	197	8	127	3.9	5.0	14.7
西湾平均							170	7	69	4.6	2.3	17.4
E	10月5日	30	8月23日	2.2	2	鉛50匁	314	5	55	1.6	3.0	17.9
F	10月3日	25	8月24日	1.8	1.5	鉛75匁	95	1	5	1.0	0.0	18.5
G	9月30日	13	8月27日	2.2	2	鉛100匁	108	3	5	2.7	0.0	18.0
東湾平均							172	3	22	1.8	1.0	18.1

※成長後死貝数から求めた値

